

平成29年度の復元図(添削含む)のご紹介

1. 復元図から来年の合格が見えてくる

試験終了後の10/9(月)以降、多くの会員皆様から復元図添削(無料)の依頼がありました。

添削をしている中で、研究会の独自評価である「採点一覧表」が80点以上(ランクⅠと想定)となる方のパターンが見えてきたので、紹介する。なお、採点一覧表は、研究会独自判断であるので、本試験採点とは同一でないことから、参考として見てください。

- ① 80点以上の方は、全員が「計画の要点等」で40点満点中、**35点以上**であった。
 - ⇒質問に忠実に理由を書いて答えていて、落ちが無い(3つ上げよなら3点、空調機械室とダクトスペースの配置ならそれぞれ書く等)。
 - ⇒記述と図面が一致しているので減点が少ない(逆に図面との整合性が取れてないことから減点となった方は点数が低い傾向有)。
- ② 80点以上の方の「作図」の減点数は、約**-10点前後**であった(図面は60点満点を想定しているの、50点前後である)。
 - ⇒高得点の方は、ほぼ30分の見直し時間を確保したとの回答であった(逆に時間ギリギリ完成の方はミスが多かった)。
 - ⇒減点の少ない図面は、シンプルな階層ゾーニング(B1は浴室、トレーニング、1Fはレストラン、ラウンジ、コンセプト、2Fは宿泊)である。

高得点者の傾向としては、階別ゾーニング&シンプルな図面で30分以上見直し時間が取れた結果、ミスの少ない図面となり、計画の要点等の質問内容を忠実に理由を書いて解答し、図面との整合性も取れているものが80点以上(ランクⅠ)評価であった(研究会独自評価)。

2. S氏の復元図(添削含む)のご紹介

ここでは、添削した中から研究会として「**ランクⅠ**」であると判断した復元図を本人(S氏)の了解を頂き紹介する。

復元図は、フリーハンドも多いことから、詳細を確認したうえで研究会が定規等によりトレース復元図とした(復元後、本人に再確認)。また、図面は分かりやすいように色分けした。計画の要点等は、ワープロ化して掲載することとした。添削部分は、そのまま赤字で記載している。

本内容は、下記の通り3項目に分けて別添掲載した(会員講座での公開)。

- ① 図面の添削結果
- ② 計画の要点等の添削結果
- ③ 採点一覧表(ランク評価)

注意:この添削結果は、研究会独自の判断による評価(減点法とランク分け)をしたものであり、試験元(センター)とは関係がない。

会員(S氏)の方からの**メール文**をそのまま列記する。

なお、S氏からは、12月に合否結果をご連絡頂けることとなっているので、連絡が来たら公表したい。

建築資格研究会様

復元図を添付しますので、添削をお願いします。

今年、最低基準で学科が合格となり、今年は、通学しないで御社HPだけを参考に受験しました。

通学しないかわりに御社HPは、通勤往復を利用して、ほぼ丸暗記しました。

その成果もあり、計画の要点等は、下書きなしで書き上げることができました。

復元してみて、HPの内容の丸写しのようで少々驚いています。

エスキスでは、客室が間口4m指定だったので、御社推薦の7m×7mを8m×7mグリッドに変えて、2階に無理やり客室全部を突っ込んだ結果、簡単に全体グリッド計画が完了しました。

その後は、ひたすら吹抜け、アウトボールバルコニー、ピロティを取り入れて、2,800㎡を切るように面積削除したら、1時間ぐらいでエスキスが終わりました。御社推薦の全体の形(箱)を作ってから指定床面積に向けて、バルコニーなどで削減する方法は、有効な手法だと思います。

計画の要点等と図面が終了したのが4時半で、その後1時間はひたすらミス探しと修正をしました。

個人的には、うまく書けたと思っておりますが、何分、初めてなので、添削よろしくをお願いします。

後、蛇足になってしまいますが、もし今年ダメなとき、来年は、通学しようと思っておりますが、御社が予測課題の添削サービスしてくれるなら、もう1年は通学しなくても良いかなと思っております。

ご検討いただけたら助かります。

※予測課題の添削サービスについては、他の会員からも要望があり、来年は、取り入れる予定である。この点は、学科試験の模擬試験でも要望があり、本HPが一方通行にならないように新規サービスを取り入れたいと思っている。それに答えられるようHP容量の大幅アップ(現在の5倍)をして、内容をより充実させ「**自宅が資格学校**」になれるようなHPにしていく予定である。